

小平市 架け橋期のカリキュラム

【全体像】

本資料は、これまでの市内における幼保小連携の取組を生かすとともに、更に継続的かつ年間を通した計画的な連携及び交流の機会を充実させ、幼保小が円滑に接続できるようにすることを目的として作成したもので、「架け橋期のカリキュラム」の全体像を示している。なお、本資料及び各期におけるカリキュラムを合わせて、『小平市 架け橋期のカリキュラム』とする。

架け橋期		5 歳児												小学校 1 年生											
育成すべき 資質・能力		「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力の基礎」「学びに向かう力、人間性等」 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 ①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現												「知識及び技能」 何を理解しているか 何ができるか 「思考力、判断力、表現力等」 理解していること・できることをどう使うか 「学びに向かう力、人間性等」 どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか											
		時期 共通の視点												時期 共通の視点											
		4 ・ 5 ・ 6 ・ 7 ・ 8 ・ 9 ・ 10 ・ 11 ・ 12 ・ 1 ・ 2 ・ 3												4 ・ 5 ・ 6 ・ 7 ・ 8 ・ 9 ・ 10 ・ 11 ・ 12 ・ 1 ・ 2 ・ 3											
目指す人間像	自立 自分で判断し行動できる	生活や遊びの中でイメージを豊かにし、感じたこと、考えたことなどを様々な表現で楽しむ。	身近に起きる事象に関心や探究心を持って主体的に関わり、試行錯誤を繰り返しながら自分なりに最後までやってみようとする。	健康で安全な生活の中で、自分の力を発揮しながら自信を持って行動する。	自分でできそうなことを見付けて試したり、やり直したりしながら、新しい生活に慣れる。	経験したことを基に見通しを持ち、手ごたえを感じながら、できることを積み上げていく。	経験に基づいた見通しを立てて取り組み、達成感、満足感を味わい、自信を深める。																		
	貢献 地域や社会に愛着を持ち自分でできることを考える	身近な環境や自然に興味や関心を持ち、自分達の生活に取り入れて遊ぶ。	身近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えて関わる。	日常生活の中で、地域や社会における様々な文化や伝統に親しむ。	身近な自然と関わり合う楽しさを身体全体で感じ取り、その楽しさや心地よさを実感する。	実際に地域に出かけ、親しみや愛着を持つ人や場所を増やす。	地域に愛着を持ち、自然を大切にしたり、集団や社会の一員として安全で適切な行動をしたりする。																		
	共生 他者を認め良好な関係を築く	人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。	友達のよさに気付き、一緒に活動する楽しさを味わう。	友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを受け止め共有し、共通の目的の実現に向けて、協力し、充実感を味わう。	友達と助け合いながら、楽しく学習や生活をする。	友達の考えを聞いたり、自分の考えを伝えたりしながら、学習や生活をする。	友達と考えを出し合い、協力して、学習や生活をやり遂げる。																		
各期におけるカリキュラム		アプローチカリキュラム（各園で 5 歳児期の活動計画を作成する）												スタートカリキュラム（各小学校で 1 年生期における各教科等の単元構成等を作成する）											
保育・指導における配慮事項		・肯定的で受容的な関わり、充実感、達成感につながる関わりをする。 ・季節やこどもの興味や関心に合わせた柔軟な環境作りをする。 ・遊びの発展や思考力が持続できる時間や空間を保障する。 ・こどもの活動に寄り添い、その意図や気持ちを理解しながら成長を見守る。												・入学までの体験を把握し、触れたいくなる、試したくなる材料・用具に配置する。 ・広がりやつながりが期待できる材料・用具の配置と教員の声かけを意識する。 ・学級やグループで様々な考えを出し合い、違いを受け入れて新しい考えを引き出す機会を設定する。											
連携	幼保小	・小学校、幼稚園、保育園連絡会（年 2 回）												・小学校、幼稚園、保育園連携の日（予定）											
	家庭・地域	・就学相談会 ・学校公開、行事への参加 ・こどもの情報共有 ・参観懇談会 ・近隣施設との交流 等												・入学式 ・保護者会 ・個人面談 ・学校公開 ・運動会 ・学級懇談会 ・道徳授業地区公開講座 等											
連携における配慮事項	幼保小	こどもの発達を長期的に捉え、幼児教育や保育の内容と小学校教育の内容、互いの指導方法の違いや共通点について理解を深める。																							
	家庭・地域	一人ひとりの育ちについて保護者と共通理解を図る。	遊びを通したこどもの育ちや、生活の中の気付きや発見を伝え、保護者と共に成長を見守っていけるようにする。	一人ひとりの育ちを確かめ合い、保護者と共に喜びを共有していく。	「目指す人間像」や学校生活や授業で大切にしていることを学校だよりや保護者説明会等で伝える。	児童の学びや経験を家庭や地域に発信し、児童の成長を温かく見守っていけるようにする。	児童が自分の成長を実感できるようにし、保護者と共に喜ぶことができるようにする。																		